

史上7番目の大型予算

3月定例会

3月定例会のポイント

新年度の一般会計予算は、震災復興に伴う村営住宅の建設費、来年2月に開催される冬季国体開催の経費、庁舎耐震改修、広域ごみ処理場建設に伴う負担金などで、総額が65億円あまりと大型の予算編成になりました。議会では新年度の予算審議は、議長を除く議員全員が委員となる予算特別委員会で慎重に審議をしました。また、平成28年度からは白馬村第5次総合計画の初年度となることから、総合計画の基本構想を審議しました。当初設定の会期では審議が不十分であると判断し、会期を延長して審議を行いました。

定例会で審議された件数

指定管理者の指定	3件
条例の制定	5件
条例の廃止	1件
条例の一部改正	7件
第5次総合計画基本構想	1件
補正予算	5件
新年度予算	6件
意見書の提出	2件

村営住宅建設 国民体育大会施設整備事業

45億4800万円

予算特別委員会

●一般会計予算

歳入歳出予算総額は65億3200万円、前年度比1億5000万円の減。

歳入では、村税は13億2000万円、前年度比6000万円の増。普通地方交付税は14億5000万円、前年度比1000万円の増。村債は10億8600万円、前年度比3億9400万円の増、うち臨時財政対策債は2億2000万円。

歳出では、災害復旧事業費3300万円、前年度比16億4700万円の減。震災復興村営

住宅建設費5億4800万円。29年2月の冬季国体事業費4億188万9千円、各小中学校の電子黒板購入費530万円、中学校タブレット端末リース料など561万2千円。神城断層地震での地面撓曲部分購入費100万円。防災計画見直しに500万円。若年層検診や小学生までのインフルエンザ予防接種費用助成など6400万円。天狗山荘トイレ改修事業費に4600万円、観光局負担金6400万円、創業者の事業支援金に300万円など。

このような審議がありました

◎総務課

問 白馬高校公営塾マネジメント委託料1444万5千円は毎年かかるか。委託先は。

答 委託先はプリマ・ペンギンで、3年間を予定。

問 高校支援事業は一般会計のままで行う予定か。

答 29年度に向け検討したい。

問 北アルプス自立圏構想の事業内容、事業費負担割合は。

答 若者交流・結婚支援のイベント、移住相談窓口・移住セミナー開催、消費生活セ

◎税務課

問 27年度の固定資産税の評価替えの影響は。

答 約10%程度の減額を見込んでいる。

問 税金の徴収強化内容は。

答 依頼を中止していた県滞納整理機構に8件程度を予定。国内外を問わず差し押さえに努める。

◎健康福祉課

問 地震後の生活支援相談員は2名体制の継続か。

答 1名は継続雇用、1名は週の半分を予定。被災者が新たな公営住宅入居後も必要と考える。

ンターの運営、職員研修、合同調査事業など。負担割合は広域連合と同じ。